

国立大学法人鹿児島大学建設工事等入札監視委員会 議事要旨

開催日及び場所	令和2年12月11日(金) 鹿児島大学 事務局4階 特別会議室	
委員	委員長 笹川 理子(弁護士法人笹川法律事務所) 委員 川崎 孝雄(川崎公認会計士事務所) 委員 岡林 巧(独立行政法人国立高等専門学校機構鹿児島工業高等専門学校 名誉教授)	
審議対象機関	国立大学法人鹿児島大学、国立大学法人鹿屋体育大学	
審議対象期間	令和元年10月～令和2年9月	
抽出案件(合計)	5件	(備考) 今回の審議対象期間における、再苦情の申立てはなし。
工事(小計)	4件	令和2年11月13日の入札監視委員会予備会議にて委員より抽出された案件について個別審議を行った。 その際、説明資料に基づき各発注機関の担当者から説明を行い、質問等への回答を行った。
一般競争(政府調達協定対象工事)	1件	
一般競争(政府調達協定対象工事を除く)	3件	
公募型指名及び競争	0件	
通常指名競争	0件	
随意契約	0件	
設計・コンサルティング業務	1件	
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申または勧告の内容	なし	

意見・質問	回答
<p>【鹿児島大学】</p> <p>1. 建設工事及び設計・コンサルティング業務に関する入札・契約手続の運用状況等の報告について</p> <p>・特になし</p>	
<p>2. 指名停止等苦情に関する報告</p> <p>・特になし</p>	
<p>3. 予備会議において抽出された建設工事及び設計・コンサルティング業務の審議について</p> <p>(1)鹿児島大学(郡元)情報生体システム工学科棟屋外鉄骨階段改修工事(一般競争入札:最低価格競争落札方式)</p> <p>・低価格での入札理由として、他工事から仮設物等を流用できるためとあるが、詳しく説明してほしい。</p> <p>・入札価格が予定価格に対し、大幅に低い金額となっている。施工に問題はないのか。</p>	<p>・令和元年2月末を以て本学敷地内にて施工中の他工事が完了予定で、工事で使用・レンタルしていた仮設物や資材をそのまま本工事へ流用することができるため、その分の経費を抑えることができる、といった内容である。</p> <p>・品質については特に注意して検査を実施した。無事に施工完了している。</p>
<p>(2)鹿児島大学(桜ヶ丘)外来診療棟・病棟(A棟)新営その他機械設備工事(一般競争入札:総合評価落札方式(標準型))</p> <p>・特になし</p>	
<p>(3)鹿児島大学(海潟)高隈演習林岳野林道等災害復旧設計業務(随意契約)</p> <p>・高隈演習林の災害復旧設計業務は、本案件を受注している業者が受注することが多いのか。</p>	<p>高隈演習林は複数の林道に区分けされており、各林道で受注実績がある業者が異なる。林道ごとに地形や地層が様々であるため、災害が発生した林道の受注実績がある業者へ依頼する機会が多い。本案件では、岳野林道の災害復旧設計業務になるため、受注実績のある当該業者に依頼した。</p>

意見・質問	回答
<p>【鹿屋体育大学】</p> <p>1. 建設工事及び設計・コンサルティング業務に関する入札・契約手続の運用状況等の報告について</p> <p>・特になし</p>	
<p>2. 指名停止等苦情に関する報告</p> <p>・特になし</p>	
<p>3. 予備会議において抽出された建設工事及び設計・コンサルティング業務の審議について</p> <p>(1)鹿屋体育大学(白水)環境整備(野球場改修)工事(一般競争入札:総合評価落札方式(実績評価型))</p> <p>・低入札が可能となった理由の同種工事の種類にはどういふものがあるのか。予定価格の積算はどのようにしているのか。</p> <p>・入札に参加する業者から見積を取ると、その業者は有利にならないのか。入札に関わらないところから見積もりは取らないのか。</p> <p>・見積を取った業者が入札ではなぜそこまで下げてくるのか。</p>	<p>・グラウンドの工事をしていたようで、共通する材料等を一括で購入するなどして安くできたようである。積算は、見積によるところが多く、見積は3社から取っており最低価格のものに査定率をかけて算出した。舗装工に価格差があったが、見積によるものであった。落札業者からも見積を取っていたが、最低価格ではなく、3社の見積に大きな差はなかった。それでも、予定価格と入札額には差があった。</p> <p>・コンサルが入札に参加するかどうかは関係なく無作為に見積を取っている。体育施設の場合は、大企業とあと2社くらいの見積を取っており、落札業者は、実績が多く現場を知っているので見積の協力をしているようである。</p> <p>・土木は重機でする作業が多く、レンタル料や人件費で安くできたり高くなったりするので、単価は公共的に統一されているが、予定価格の見積は統一価格ベースで出していると思われ、それに査定率をかけて算出したが、高止まりの可能性はある。経費率についても、本学は55%、落札業者は20%で計算されており、単価も経費も安くなっていた。公共土木工事の経費率もオープンにされていることから自分たちの利益を考えて業者は入札できるため、今までの本学との関わり方や今後の事を総合的に判断して確実に落札する事を決定したのでないかと考えている。</p>
<p>(2)鹿屋体育大学(白水)武道館改修工事(一般競争入札:総合評価落札方式(実績評価型))</p> <p>・評価点の差は、どういうところで変わるのか。</p> <p>・地域精通度はどの地域が対象になるのか。</p> <p>・近い方がいいのか。</p>	<p>・企業の工事成績、地域精通度、ワークライフバランスの取り組み状況で加算されている。落札業者は、予定価格の範囲内で、評価点も高かった。</p> <p>・鹿屋市、垂水市、曾於市、志布志市、曾於郡、肝属郡が対象。</p> <p>・緊急時にすみやかに対応することができる。</p>